

甲賀市史の概要決まる

市史編さん委員会へ



○新しい資料の発掘に努めると共に、最新の研究成果を積極的にとり入れ、学術的水準を保ちます。

○単なる過去の記録の集成でなく、各時代のできごとや人物などを取り上げ、時代ごとの地域の色を明らかにします。

○写真や図版を多く取り入れ、読みやすく親しみやすいものとし、市民に長く読みつがれ、郷土愛を育むものとします。

○市史編さんのなかで収集された史資料は、将来にわたって保管し後世に伝え、活用できるように配慮します。

市史の名称

新生甲賀市にとって初めての歴史書となることから、市の名称を冠し『甲賀市史』とします。

巻の構成と刊行計画

原始時代から現代までの地域の歩みを紹介する「通史編」4巻と地域の特色ある歴史的遺産を紹介する「分野編」3巻、および年表・

便覧・総索引1巻の全8巻の構成とします。

第1回配本は、第1巻原始・古代で、平成20年春を予定。平成29年度の完結を目指します。刊行部数は贈呈分を含め3000部。全巻の予約開始は平成18年夏の予定です。

市史の体裁

大きな活字で読みやすく、また写真や図版類を多く挿入できるように、従来の市史や町史に多いA5判より一回り大きいB5判(縦)とします。また全巻とも500ページ前後とし、親しみやすい装丁とします。

執筆者と編集委員

最新の研究成果を取り入れ、正確で客観的な内容とするため、執筆には各時代各分野において線で活躍中の研究者を迎え、これを統括する編集委員が章節だてや内容を吟味して、長く読みつがれる「甲賀市史」を目指します。どうぞご期待ください。

【問い合わせ】

総務課市史編集係
TEL 86-88075
FAX 86-83380

【甲賀市史編さん委員会委員】

会長	瀬古一郎	(甲賀町郷土史会会長)
副会長	北村重幸	(甲賀市議会議長)
委員	木村至宏	(市史編集委員長)
同	小坂堅氏	(水口祭保存振興会会長)
同	富増純一	(信楽町観光協会会長)
同	藤田照治	(甲賀市教育委員会委員長)
同	松岡長一郎	(日本地質学会会員)
同	望月保	(前土山宿の町並を愛する会会長)

【甲賀市史編集委員】

委員長	木村至宏	(成安造形大学学長)
副委員長	井上満郎	(京都産業大学教授)
委員	川嶋將生	(立命館大学教授)
同	水本邦彦	(京都府立大学教授)
同	向井啓二	(種智院大学助教授)

【敬称略】

【巻の構成】

【通史編】 < >内は副題

①第1巻	原始・古代<古代の甲賀>
④第2巻	中世<甲賀武士の活躍>
⑤第3巻	近世<村・町・道>
⑦第4巻	近現代<明日の甲賀へ>

【分野編】

⑥第5巻	考古資料・美術工芸
②第6巻	建造物・民俗文化財
③第7巻	甲賀の城
⑧第8巻	年表・便覧・総索引

※冒頭番号は配本順を示す